

(9) 政策に対する態度

ア 若い世代と高齢者のどちらを重視するか (Q58)

「今後、政府の政策全般において、高齢者や若い世代に対する対応をどのようにしていくべきだと考えるか」についてみると、各国とも「高齢者をもっと重視すべき」が最も高い割合となっており、特にアメリカ(62.2%)及び韓国(59.5%)で6割前後と高くなっている。

ドイツでは、「現状のままでよい」の割合が26.2%と、調査実施国中最も高くなっている。

また、「若い世代をもっと重視すべき」の割合は、日本が28.4%と最も高く、次いで、スウェーデン(23.8%)、ドイツ(16.7%)、韓国(16.4%)となっており、アメリカが7.8%で最も低くなっている。

(表 76)

(%)

	日 本							ア メ リ カ						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	40.7	49.0	/	/	/	/	/	63.8	62.2
2 現状のままでよい	/	/	/	/	/	20.1	14.5	/	/	/	/	/	15.0	17.1
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	26.1	28.4	/	/	/	/	/	9.6	7.8
4 わからない	/	/	/	/	/	12.8	8.1	/	/	/	/	/	11.6	12.9
無回答	/	/	/	/	/	0.2	-	/	/	/	/	/	-	-

	韓 国						ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	/	73.4	59.5	/	/	/	51.1	50.2	/	48.7
2 現状のままでよい	/	/	/	/	10.1	19.0	/	/	/	18.7	26.2	/	18.8
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	/	10.5	16.4	/	/	/	18.9	16.7	/	23.8
4 わからない	/	/	/	/	6.0	5.1	/	/	/	11.0	6.9	/	8.7
無回答	/	/	/	/	-	-	/	/	/	0.3	-	/	-

イ 高齢者に対する重要な政策や支援（Q59）

「高齢者に対する政策や支援で大切だと思うもの」についてみると、日本では「介護や福祉サービス」（60.9%）、「医療サービス」（59.5%）、「公的な年金制度」（57.6%）が拮抗している。韓国では「医療サービス」（61.8%）の割合が最も高いが、「働く場所の確保」（54.6%）もそれに次いで高く、「介護や福祉サービス」（53.1%）が続く。

アメリカ、ドイツ及びスウェーデンでは、「公的な年金制度」（アメリカ 80.2%、ドイツ 65.4%、スウェーデン 76.8%）の割合が最も高くなっており、2位以下をみると、アメリカでは「医療サービス」（76.0%）、「介護や福祉サービス」（68.0%）が続き、ドイツ及びスウェーデンでは、「介護や福祉サービス」（ドイツ 49.1%、スウェーデン 72.6%）、「医療サービス」（ドイツ 45.6%、スウェーデン 69.7%）となっている。

（表 77）

付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本							ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	
1 働く場の確保					30.6	24.5	24.3						33.3	60.9	66.4
2 公的な年金制度					67.8	52.4	57.6						76.2	78.3	80.2
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援					23.1	11.3	13.3						24.5	57.0	68.6
4 医療サービス					57.3	52.7	59.5						62.8	80.3	76.0
5 介護や福祉サービス					54.1	48.8	60.9						32.7	67.3	68.0
6 ボランティア活動のための場の確保					15.7	10.8	10.5						9.2	41.7	54.7
7 学習のための場の確保						7.5	8.5							36.0	48.6
8 高齢者向けの住宅					23.5	12.8	21.2						19.2	56.9	61.6
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）					33.2	18.6	25.5						12.0	45.1	57.9
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）					23.1	21.4	16.9						14.0	37.0	54.4
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進					18.4	10.8	15.0						10.5	42.4	58.1
12 その他					2.2	2.4	1.7						1.8	1.0	3.1
無回答					2.5	2.1	1.2						1.9	0.4	6.0

  

	韓 国							ド イ ツ							スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回	第5回	第7回	
1 働く場の確保				47.3	54.5	54.6			24.5	27.3	29.0	11.8	42.1			
2 公的な年金制度				58.6	49.1	43.9			87.0	72.9	65.4	85.6	76.8			
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援				14.3	31.2	24.9			25.1	41.3	38.8	24.5	37.0			
4 医療サービス				50.6	72.9	61.8			52.6	44.6	45.6	63.7	69.7			
5 介護や福祉サービス				45.2	49.0	53.1			55.9	44.2	49.1	59.9	72.6			
6 ボランティア活動のための場の確保				14.7	10.5	10.0			21.1	19.2	22.5	33.3	45.4			
7 学習のための場の確保					6.7	3.9				10.6	14.0		26.8			
8 高齢者向けの住宅				21.6	31.6	21.4			38.7	26.4	29.9	37.5	66.8			
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）				27.3	26.5	16.4			31.2	30.2	36.5	43.9	39.4			
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）				12.3	10.4	7.3			41.5	31.4	32.6	44.5	49.0			
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進				13.8	28.3	21.0			35.5	31.9	33.2	31.4	41.4			
12 その他				0.8	0.8	0.5			1.3	3.2	0.8	1.1	3.0			
無回答				2.7	0.2	0.1			0.1	2.3	12.4	-	-			

注）第5回までは以下の文言で聞いた。

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 働く場所を確保する                      | 6 ボランティア活動や学習のための場を確保する          |
| 2 公的な年金制度を充実させる                  | 7 (第6回からの設問)                     |
| 3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）を充実させる | 8 高齢者向けの住宅を整備し、充実させる             |
| 4 医療サービスを整備し、充実させる               | 9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）を目指す  |
| 5 介護や福祉サービスを整備し、充実させる            | 10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）の対策を行う |
|                                  | 11 高齢者の人権について、一般市民に理解してもらう       |

ウ 社会保障制度の負担のあり方 ( Q60 )

「社会保障制度の水準や負担のあり方」についてみると、日本では「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき」が 38.8% で最も高い割合となっている。一方、日本を除く 4 か国では、「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき」(アメリカ 40.2%、韓国 50.1%、ドイツ 36.6%、スウェーデン 48.9%) の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、日本では、「できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには、社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない」が減少し、「向上させるべき」及び「維持すべき」が増加し、特に、「向上させるべき」の割合は、約 10 ポイント上昇している。

(表 78)

(%)

	日 本							ア メ リ カ							
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき						18.9	29.2							43.2	40.2
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき						37.4	38.8							31.8	29.1
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない						21.3	17.5							8.8	15.4
4  わからない						21.7	14.5							15.8	15.3
無回答						0.7	-							0.4	-

	韓 国						ド イ ツ					スウェーデン	
	第 1 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 5 回	第 7 回
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき					54.6	50.1				35.4	36.6		48.9
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになって、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき					11.6	17.0				30.0	33.8		37.9
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない					13.9	16.2				17.8	19.1		5.1
4  わからない					19.9	16.6				16.1	10.6		8.2
無回答					-	-				0.7	-		-

エ 老後の生活費に対する考え方 (Q61)

「老後の生活費について、どのように考えるか」についてみると、日本と韓国では、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(日本 47.8%、韓国 49.7%)の割合が最も高く、次いで「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(日本 42.9%、韓国 43.1%)の順となっているが、両者の差は大きくない。

アメリカでは、「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(43.8%)と「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(42.4%)という相反する意見の割合が拮抗している。

ドイツ及びスウェーデンでは、「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(ドイツ 52.7%、スウェーデン 61.8%)の割合が最も高くなっており、「老後の生活費は、働くうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(ドイツ 35.7%、スウェーデン 27.8%)との差は他の国に比べて大きい。

前回調査と比較すると、アメリカでは、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(自立型)の割合が減少し、「老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである」(家族依存型)が増加している。逆に、韓国では、家族依存型が減少し、自立型が増加している。

(表 79)

(%)

	日 本							ア メ リ カ						
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	55.0	52.4	44.0	46.6	42.6	47.6	47.8	60.7	65.2	59.1	62.1	50.8	48.4	42.4
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	18.8	15.0	16.0	12.8	7.9	6.9	7.2	0.6	0.7	0.6	0.8	4.9	4.2	7.1
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	21.8	30.2	37.5	37.7	46.3	43.6	42.9	29.1	25.3	26.5	25.7	37.8	44.1	43.8
4 その他	2.5	2.2	1.3	2.3	2.6	1.4	1.5	6.0	6.0	9.1	5.8	1.3	2.9	5.6
無回答	1.9	0.3	1.1	0.6	0.6	0.5	0.7	3.6	2.8	4.7	5.6	5.2	0.4	1.1

	韓 国							ド イ ツ					スウェーデン	
	第1回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第5回	第7回	
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	40.3	43.2	41.9	46.3	36.5	49.7	45.2	32.2	39.6	34.9	35.7	37.6	27.8	
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	49.4	38.2	28.2	19.5	11.5	6.6	6.0	3.8	1.7	5.7	6.2	1.8	1.7	
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	8.2	17.6	29.2	32.7	51.3	43.1	45.6	59.3	57.2	55.8	52.7	57.3	61.8	
4 その他	1.1	0.6	-	0.6	0.7	0.4	3.0	4.3	1.5	3.2	1.2	3.3	8.7	
無回答	1.0	0.4	0.7	0.9	-	0.3	0.2	0.4	-	0.4	4.3	-	-	